

# 第12回NFAフットサル大会 大会経緯と概要 (1/3)

■主催：成田市サッカー協会 ■主管：市協会6種部会 ■協力：市協会審判部  
 ■開催日：令和2年8月2日(日) ■会場：成田市中台体育館

## 《フットサル部、及びNFAフットサル大会の経緯》

平成19年(2007年)に新しいサッカーニーズを取り込むため、フットサルリーグ実行委員会が新設され、事業も同年5月に成田Fリーグ開幕記念プレ大会を開催、当時クーバ成田学校講師だった田辺氏率いる「chaco・チーゴ」が優勝した。同年6月より協会初のフットサルリーグ戦もスタートし、チャレンジ成田Fリーグ(全28試合/チーム)と称され全8チームが熱戦を繰り広げ、初代王者には「遠山FC」が君臨したが、参加チーム激減やコートメイクなど運営の煩雑もあり、翌年には単発大会のみの開催に戻りました。

その後、平成21年に1種事業として大会名も「NFAフットサル大会」と改称しリニューアルスタートした。この時は現アリーナ2面コートで運用したが、のちに全面1コート化してFIFAルールにも準拠した。平成22年には6種部会に分離独立し、理事に小澤慎一氏が就任、平成26年に関根李之氏、今年度から飯島照明氏が就いた。また今回大会は諸事情でNONスポンサー大会となった。大会初期は玉造SCが6回優勝の独壇場、その後NAAが第8回(H28年)、第9回(H29年)と2連覇したが、昨年大会は新鋭レジェンドが優勝するなど、新しいチームも王座についている。

今年は開会式を省略、会場入り前に体温測定など実施するなど、新型コロナを考慮いたしました。大会規模は昨年大会より2チーム減の全10チーム。前回王者のレジェンドをはじめ玉造SC、NAA、香取オーシャンズ、リベルドルなどの常連チームの他、市協会加盟チームからはブルーシュリンプス、栄ハーバーにFCボレイロ、やまのくまさんが参戦した。新勢力では地元フットサルクラブのエスタディオからの参加もあり、大会を大いに盛り上げてくれました。また、大会終了後はシニア+成田女子のフットサルでも盛り上がりがありました。

## 《過去の大会成績》

大会(開催年度)	優勝	準優勝	第3位	得点王/備考
第1回(H21年)	玉造SC【A】	アギラス	玉造SC【B】/バレンチノ	■得点王:不明 ■玉造SCが初代王者と成る
第2回(H22年)	玉造SC【A】	玉造SC【B】	酒々井FC/FC M	■得点王:不明 ■玉造SC連覇成る(十準優勝)
第3回(H23年)	Optimisa FC	玉造SC【A】	ガンナーズFC FC Solomon	■得点王:関根李之(ガンナーズ) ■Optimisaが急浮上、玉造SCの大会3連覇阻止
第4回(H24年)	玉造SC【A】	サボターズ	Optimisa FC	■得点王:本田哲也(玉造SC) enjoy部門併用開催
第5回(H25年)	玉造SC【A】	玉造SC【B】	玉造SC【C】	■得点王:不明 ■玉造SC1~3位独占の快挙
第6回(H26年)	玉造SC	レジェンド	エスカーダ/ワンマン	■得点王:黒川和樹(玉造SC)8点
第7回(H27年)	ルーキーズ	玉造SC【B】	レジェンド	■得点王:不明 ■玉造SC4連覇を阻まれる
第8回(H28年)	玉造SC	エスカーダ	ルーキーズ	■得点王:山崎 舟(玉造SC)・清水 剛(ルーキーズ)・藤井 樹(IUHW narita FC【B】)
第9回(H29年)	NAA	栄ハーバーライツ	玉造SC【C】	■得点王:斉藤 (IUHW narita FC)
第10回(H30年)	NAA	SPORT BOYS-B	Goood WorK J	■得点王:郡司 (Goood WorK J)
第11回(H31年)	レジェンド	ガンナーズ井筒	ブルーシュリンプス	■得点王:後藤(フラクチャーズ)、田中(ブルーシュリンプス)、土田(NAS)



■今年は開会式を省略し、チーム代表説明のみ ■参画後、初仕事の飯島(照)理事 ■息詰まる決勝戦の攻防



◆準優勝:ブルーシュリンプス ◆得点王:郡司選手(8得点) ◆優勝:エスタディオ成田(初優勝)



# 第12回NFAフットサル大会 結果 (2/3)

## 新勢力のエスタディオ成田が、ブルーシュリンプスを振り切り初優勝を飾る

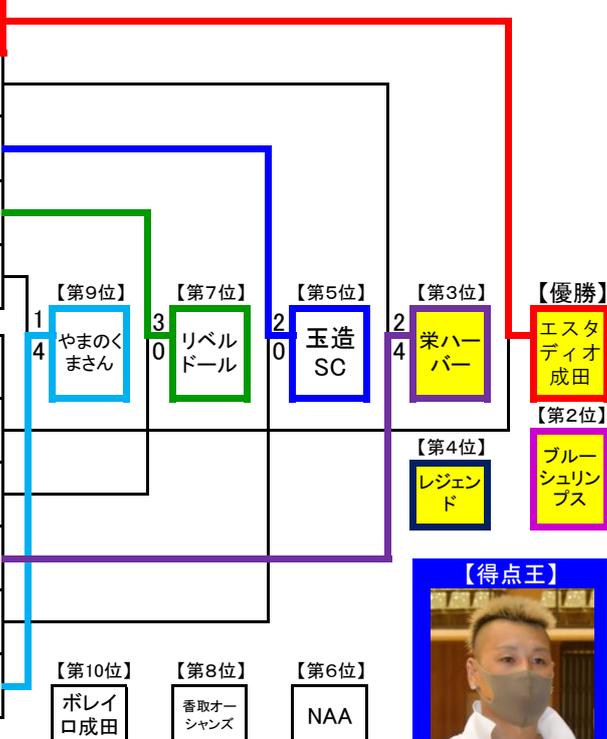
《戦評》今回大会予測は、本命に昨年度優勝のレジェンドを軸に、対抗に玉造SCや1種リーグで勢いがある栄ハーバーライト、そしてブルーシュリンプスが有力と見られました。これにリベルドールや初参加の地元フットサルクラブ・エスタディオ成田がどの位絡むか、またNAAの逆襲も見たい所です。結果はレジェンドが予選ブロックで思わぬ苦戦の末脱落、代わりにスピードを武器に攻守にスキのないエスタディオ成田と、得点力にたけるブルーシュリンプスが1位抜けします。決勝リーグは、その2チームが激突、ガチンコ勝負の末、新鋭・エスタディオ成田の頭上に初優勝の栄冠が輝きました。得点王には郡司一輝選手(LEGEND)が二度目の受賞。

～予選リーグ～

9.10位決定 7.8位決定 5.6位決定 3.4位決定 決勝戦

A組	エスタディオ成田	レジェンド	玉造SC	リベルドール	ボレイロ成田	勝点	得点	失点	得失点	順位
エスタディオ成田	○	○	○	○	12	12	4	8	1	
レジェンド	●	○	○	○	6	13	7	6	2	
玉造SC	●	○	○	○	6	10	6	4	3	
リベルドール	●	●	○	○	6	4	7	-3	4	
ボレイロ成田	●	●	●	●	0	4	19	-15	5	

B組	ブルーシュリンプス	香取オーシャンズ	栄ハーバー	NAA	やまのくまさん	勝点	得点	失点	得失点	順位
ブルーシュリンプス	○	○	○	○	12	13	1	12	1	
香取オーシャンズ	●	○	△	△	2	4	10	-6	4	
栄ハーバー	●	○	○	○	9	8	4	4	2	
NAA	●	△	●	○	4	3	6	-3	3	
やまのくまさん	●	△	●	●	1	4	11	-7	5	



■体を張って守る ■玉造SCの逆襲なるか ■予選Aリーグ:レジェンド対ボレイロ成田



■ブルーシュリンプス高石選手の鋭いドリブル ■ゴール前の攻防:エスタディオ成田が押し込む ■決勝戦:立ち上がりの激しい攻防

## 第12回NFAフットサル大会 チーム一覧 (Aブロック)

■このブロックは昨年度優勝のレジェンドが有力候補、対抗は大会上位常連の玉造SCや、初参加ながら暴れてくれそうなエスタディオ成田、リベルドールがどう戦うかが注目されます。また、FCボレイロもチームワークで、上位に食い込んで欲しい所です。

<Bブロック>



攻撃力  
守備力  
フィジカル  
スピード  
技術  
組織力



攻撃力  
守備力  
フィジカル  
スピード  
技術  
組織力

■レジェンド(昨年度優勝)



攻撃力  
守備力  
フィジカル  
スピード  
技術  
組織力

■玉造SC(市協会1種登録)過去5回優勝歴あり



攻撃力  
守備力  
フィジカル  
スピード  
技術  
組織力

■リベルドール(大会常連)



攻撃力  
守備力  
フィジカル  
スピード  
技術  
組織力

■エスタディオ成田(新規参加)



■ボレイロFC成田(市協会1種登録)



■エスタディオ成田の平野選手(女子)の活躍も目立った

■玉造SC対リベルドール戦、玉造SCの逆襲

## 第12回NFAフットサル大会 チーム一覧 (Bブロック)

■このブロックは栄ハーバーライツが軸で、過去大会成績から対抗はNAA、伏兵でブルーシュリンプス、香取オーシャンズ、大会実行委員率いるやまのくまさんと見ていました。しかし、ブルーシュリンプスの活躍が予想を超え優勝候補の栄を凌駕した事で、優勝予想が困難になりました。

### <Bブロック>



攻撃力  
守備力  
フィジカル  
スピード  
技術  
組織力



攻撃力  
守備力  
フィジカル  
スピード  
技術  
組織力

### ■ブルーシュリンプス(市協会1種登録)



攻撃力  
守備力  
フィジカル  
スピード  
技術  
組織力

### ■栄ハーバーライツ(市協会1種登録)



攻撃力  
守備力  
フィジカル  
スピード  
技術  
組織力

### ■NAA(市協会1種登録)過去2回優勝歴あり



攻撃力  
守備力  
フィジカル  
スピード  
技術  
組織力

### ■香取オーシャンズ



### ■やまのくまさん(市協会1種登録)



### ■ブルーシュリンプスの攻め、やまのくまさんのゴールに迫る



■最後の壁・ゴールキーパーの守備(NAA対栄ハーバーライツ)

■決勝戦:ブルーシュリンプスの攻めを受けて立つエスタディオ成田